

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に関する多施設共同研究（通称：MITRA PLUS） （倫理委員会承認番号：655）
当院の研究責任者 （所属）	榎本吉倫（医務局心臓血管外科）
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	慈恵会医科大学 等 研究代表者 國原孝（慈恵会医科大学 心臓血管外科 主任教授）
本研究の目的	本研究の主目的は重度虚血性僧帽弁閉鎖不全症（Ischemic mitral regurgitation: IMR）に対する僧帽弁置換術（mitral valve replacement: MVR）と乳頭筋に介入した僧帽弁形成術（mitral valvuloplasty: MVP）の臨床成績を後方視的に比較検討することである。
調査データの 該当期間	2015年1月1日より2019年12月31日まで
研究の方法 （対象となる方）	16歳以上の重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対して待機的に僧帽弁形成術もしくは僧帽弁置換術を施行した症例
研究の方法 （使用する情報）	全死亡、心血管死亡、脳血管死亡、脳梗塞、僧帽弁に対する再手術、心不全による再入院、NYHA class の増悪、1年後ならびに直近の LV reverse remodeling、左室径ならびに収縮能、中等度以上の僧帽弁閉鎖不全症の再発
資料・情報の他機関 への提供	NCD のプラットフォームを介した提供（匿名化）、エコーデータはサーバー上でのやりとり（匿名化）
個人情報の取扱い	本研究に係る研究対象者の個人情報は、「学校法人慈恵大学 個人情報保護に関する規程」、「個人情報の取得・利用ならびに第三者提供に関する細則」、「医学系研究（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針およびヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に基づく研究）における個人情報保護のための安全対策管理措置手順書」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して取り扱う。

	<p>解析結果は、研究対象者にプライバシー上の不利益が生じないよう、適切に匿名化されていることを確認した上で公表を行う。</p> <p>また本研究に係る研究対象者の特定の個人を識別できる情報は、他の研究機関等と共有しない。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p><研究の資金源></p> <p>2019年度日本心臓血管外科学会臨床研究助成を資金源とする。不足分は慈恵会医科大学心臓外科学講座研究費を資金源とするが、現在2022年度基盤研究（C）への申請計画中である。</p> <p><利益相反および個人の収益等></p> <p>この研究は、特定の企業・団体との関与はない。研究の実施に当たり、研究の透明性および公平性の確保に努める。なお、研究者は本学（慈恵会医科大学）の利益相反管理規定を遵守し、利益相反管理委員会への手続きを行っている。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>研究を実施するそれぞれの付属病院の患者さんを対象として研究を実施するため個人情報相談窓口として以下の連絡先を記載する。</p> <p>個人情報保護相談窓口 慈恵会医科大学附属病院本院　：03-5400-1272（直通） 対応時間　　：午前9時～午後4時／休診日を除く</p> <p>本研究に関する質問および相談の窓口は以下のとおりである。</p> <p>部 署：東京慈恵会医科大学心臓外科学講座</p> <p>担当者：高木 智充</p> <p>電話番号(内線)：03-3433-1111(内線 3501)</p>
<p>備考</p>	